

2007年11月27日開催 第523回 番組審議会

■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 大村英昭委員 神谷徹委員
黒田勇委員 東野博昭委員 藤原健委員

■ 毎日放送出席者

山本会長 田中専務 上田専務 山西常務 松島常務 三村制作局長
東編成局長 熊報道局長 木田コンプライアンス室長
黒田プロデューサー 本郷プロデューサー

◆ テレビ番組「JAL金閣寺音舞台」

10月7日（日）24時30分～25時24分放送

毎日放送の第523回番組審議会は11月27日大阪市北区の本社で開かれ、テレビ番組「JAL金閣寺音舞台」を審議しました。“東洋と西洋の出会い”をテーマに、京都や奈良の歴史的建造物である寺院を舞台にし、世界のアーティストが出演する「音舞台」は国際エミー賞を受賞するなど国際的評価を得ていますが、今年20回目を迎えました。

委員の主な意見は次の通り。

*完成度が高く、すきのない番組。ラッセル・ワトソンさんの、1年前に大病を患った話があって一層感動的だった。

*地域資源の発掘と保存という意味ですばらしい番組だ。メイキングビデオなどで様々に二次利用していけば、すばらしい資源として蓄積していく。

金閣寺の夜に「オーソレミオ(わが太陽)」はないと思う。作品の完成度という意味では、あの選曲は疑問だ。

*番組の放送だけでなくDVDなどで一般販売したらどうか。これほどの内容のものだからもったいないと思う。

まだ音舞台がされていないほかの寺院でも、やってほしい。

*インタビューで出演者のメッセージが伝わってきたし、年間通しての景色の映像も入っていて、美しい映像を満喫した。

*作品の出来としては申し分ない。たまにはこういう番組を見ないと、心が貧しくなってしまう。

*日本文化を世界に向けて発信している番組。言葉が通じなくても、音楽自体の持つコミュニケーション能力や、映像によって文化が広がっていく。

*「いにしえを今に結ぶ夢舞台」と言うか、見ていて夢のような心地がした。大変優れた作品。

◆日本放送文化大賞グランプリ受賞について

映像'07「私は生きる」が第3回日本放送文化大賞のテレビ番組グランプリを受賞したことについて報道局長が報告しました。

◆「VOICE」の「ヤミ補助金疑惑報道」のBRC決定について

平成18年11月20日放送のテレビ報道番組「VOICE」で、「予算計上されていない大阪市の補助金が部落解放同盟にかかわる社会福祉法人などに対し、支給されていた」と伝えたことについて、部落解放同盟大阪府連書記長らからBRC（放送と人権等権利に関する委員会）に名誉侵害があったと申し立てがあった件で、BRCは今年11月12日、「名誉侵害」ならびに「放送倫理違反」のいずれも認められないとの委員会決定を発表しました。また決定の中で、報道の一部表現

のあり方について「より正確、公正な報道を心がけることを要望する」と厳しい指摘がありました。

番組審議会ではこのBRC決定についてコンプライアンス室長と報道局長が報告しました。委員からは「謙虚さに満ちた勇気を失わず、公正で正確な報道を。勇気をもって、しかしこういう問題が起きないように取材を続けてほしい」などの意見が出されました。

◆「VOICE」の「喫茶店廃業報道」の名誉棄損判決について

平成17年5月6日に放送したテレビ報道番組「VOICE」の「喫茶店廃業報道」をめぐる民事訴訟で、「名誉棄損が成立する」という原告の訴えを認める神戸地方裁判所の判決が今年10月に出されました。毎日放送では今回の放送のような内容で名誉棄損が成立し取材の違法性が認定されるとなると、今後の調査報道などに与える影響は甚大だと考え控訴しました。

番組審議会ではこの名誉棄損判決についてコンプライアンス室長と報道局長が報告しました。